

○2階正面建具

かつては板戸に小窓が付いた雨戸が入っていた開口部には、敷居鴨居が渡され、その上下に引き違いのガラス戸が入っています。

○出格子

金沢では目の細かい木格子を「木虫籠（キムスコ）」と呼び、その断面は外側の広い台形として、外から見えにくく、内から良く外が見通せる工夫が凝らされています。

○出格子の腰

腰羽目の石材は福井県産笏谷石（しゃくだにいし）が使われています。

○縁庇（えんびさし）

2階前座敷に付く縁側の化粧天井が外に庇状に差し出されたもので、庇裏は小丸太と角材の垂木が交互に並んでいます。

○小庇

角垂木が連続してその木口を見せ、一文字瓦が葺かれています。

建物の表構え（旧つちや）



主計町

伝統的建造物群保存地区

【探訪ポイントマップ】



かずえまち 主計町



てらまちだい 寺町台



金沢市の伝統的建造物群保存地区の位置



うたつさんろく 卯辰山麓



ひがしやま 東山ひがし



【編集・発行】金沢市文化スポーツ局 歴史都市推進課

TEL076-220-2208 Fax076-224-5046

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

E-mail rekishitoshi@city.kanazawa.lg.jp

平成 29 年 7 月作成

【お願い】・伝統的建造物群保存地区は住民の生活空間です。迷惑にならないようルールを守って楽しく観光してください。

・住宅として利用されている町家は、内部非公開です。外観を注目してください。

・境内地などで喫煙等の火気の使用はご遠慮ください。



主計町

伝統的建造物群保存地区

地区決定 平成15年4月1日
重要伝統的建造物群保存地区選定
平成20年6月9日
保存地区面積 0.6ヘクタール



明治30年代（1897～1906）の主計町
（「金沢一市制百周年を記念して」（1989年）より転載）

主計町の興りと歩み

主計町が茶屋町として発祥した時期は明確ではありませんが、文化・文政期から天保期にかけて（1804～1843）、西隣の母衣町に芸妓衆が住まい、宿屋などが立地していたことが文献に記されており、当地は、浅野川大橋のもとにあって浅野川の水運や北国街道の人や物資が行き交う繁華な場所として形成されてきたと考えられています。

明治以降の資料では、主計町は公許された茶屋町ではないものの、東・西・北の各茶屋町と並んで実質的に成立していたことがうかがわれ、境界の様子が泉鏡花の多くの作品に描かれています。昭和初期になると旧西内惣構の西側に料理屋や演舞場を始めとして茶屋が立地し、主計町全体が茶屋町として成立していたことが確認できます。この頃までに、多くの建物が2階建てでから3階建てに増築され、屋根が板葺き石置き屋根から瓦葺きとなり、今日見られる特徴的な町並みが形成されました。



文化8（1811）年の主計町（「金沢町絵図」）
【金沢市立玉川図書館蔵】



（景観モデル住宅）

（旧つちや）



戦後建てられた主計町料亭組合の事務所が入る建物です。2階は芸妓の稽古場で舞台が設けられています。運が良ければ建物から稽古の音曲がもれ聞こえるかもしれません。金沢芸妓のお稽古風景を見学する夏期限定イベントも開催されています。

1 主計町事務所（検番事務所）



茶屋様式の町家建築で、表通りに面して正面玄関を構えています。大正2年の建築とされており、主計町の往時の賑わいを今に伝える典型的な間取りをよく残し、大正期の茶屋建築の形式を示す意匠的価値の高い建物です。東山の茶屋建築と比較すると、間口が狭く、かつ中庭や付属屋を持たず主屋のみである点に特徴があります。

2 旧つちや（市指定文化財）



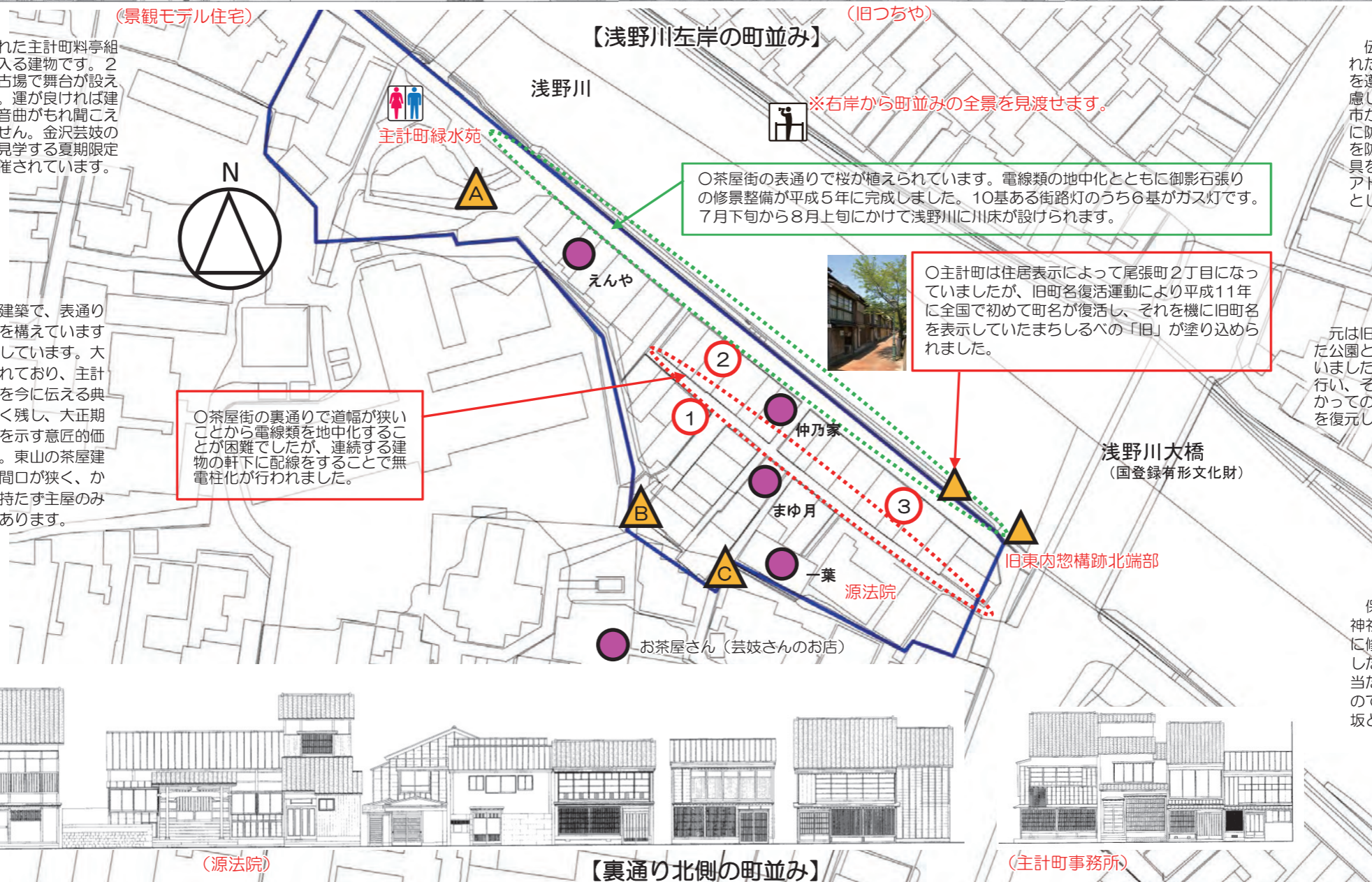
C あかり坂



（源法院）

【裏通り北側の町並み】

（主計町事務所）



【浅野川左岸の町並み】

※右岸から町並みの全景を見渡せます。

○茶屋街の表通りで桜が植えられています。電線類の地中化とともに御影石張りの修景整備が平成5年に完成しました。10基ある街路灯のうち6基がガス灯です。7月下旬から8月上旬にかけて浅野川に川床が設けられます。

○茶屋街の裏通りで道幅が狭いことから電線類を地中化することが困難でしたが、連続する建物の軒下に配線することで無電柱化が行われました。

○主計町は住居表示によって尾張町2丁目になっていましたが、旧町名復活運動により平成11年に全国で初めて町名が復活し、それを機に旧町名を表示していたまちしるべの「旧」が塗り込められました。

伝建地区になる以前に新築されたもので、建築基準法の規定を遵守して町並みとの調和に配慮した地区のモデル住宅として市が建設しました。1階階地境に防火壁を設置したり2階雨戸を防火戸にすることで格子や建具を木製にしています。内部はアトリ工風で、金沢美大の官舎として使用されています。

3 主計町地区景観モデル住宅

元は旧惣構堀を活かした公園として整備されていましたが、発掘調査を行い、その結果に基づき、かつての惣構の土居と堀を復元しました。



A 旧西内惣構跡（復元）

保存地区から久保市乙剣神社に登る坂で、平成12年に修景整備工事が完成しました。かつては日中も日の当たらない暗い坂道だったのでこの名で呼ばれ、暗闇坂とも呼ばれます。



B 暗がり坂